

広島県で発生した土石流災害における土木研究所の技術支援



- 広島県では、8月19日からの大雨により多数の箇所では土砂災害等が発生し、死者72名、行方不明者2名(H26.9.1 18:30現在 平成26年(2014年)8月豪雨非常災害対策本部発表)の被害が生じた。また、崩れた斜面から流れ出た土砂により救助活動中の消防隊員が巻き込まれて犠牲者が出たことや、度重なる降雨により二次災害の危険性が懸念され、捜索活動を中断する等、**行方不明者の救助・捜索活動は難航した。**
- 土木研究所では現地に**土砂災害の専門家を派遣し、専門的見地から技術的助言**を行った。
- 土木研究所職員らが助言した**捜索中止の判断基準の考え方**や**捜索再開のための現地確認調査**等に基づいて、**県警・消防・自衛隊による降雨後の捜索活動再開時期が設定され、捜索活動の安全確保に貢献した。**



広島県広島市安佐南区八木地区で発生した土石流災害



現地捜索活動再開のための安全確認調査結果について、自衛隊に説明する土木研究所職員(火山・土石流チーム)と国交省TECFORCE隊



捜索中止の判断基準等の考え方について、県警や消防等災害対応関係者に説明する国土技術政策総合研究所職員、土木研究所職員(火山・土石流チーム)